

志布志から世界へ！

世界で愛される
お茶づくりを目指して



株式会社堀口園
堀口将吾



概要

名称：株式会社堀口園

代表：堀口将吾

所在地：鹿児島県志布志市

創業：1986（昭和61）年

売上：48.5億円（2025年2月期）

従業員：約50名

茶（煎茶、抹茶、碾茶）の仕入、製造、販売

茶園の管理



自己紹介

堀口将吾

1979（昭和54）年 静岡県焼津市に生まれる

1985年鹿児島県へ、以後高校卒業まで鹿児島県育ち

大学を卒業後、大手飲料メーカーで原料調達の仕事に従事

2010年堀口園入社

2023年代表取締役



×

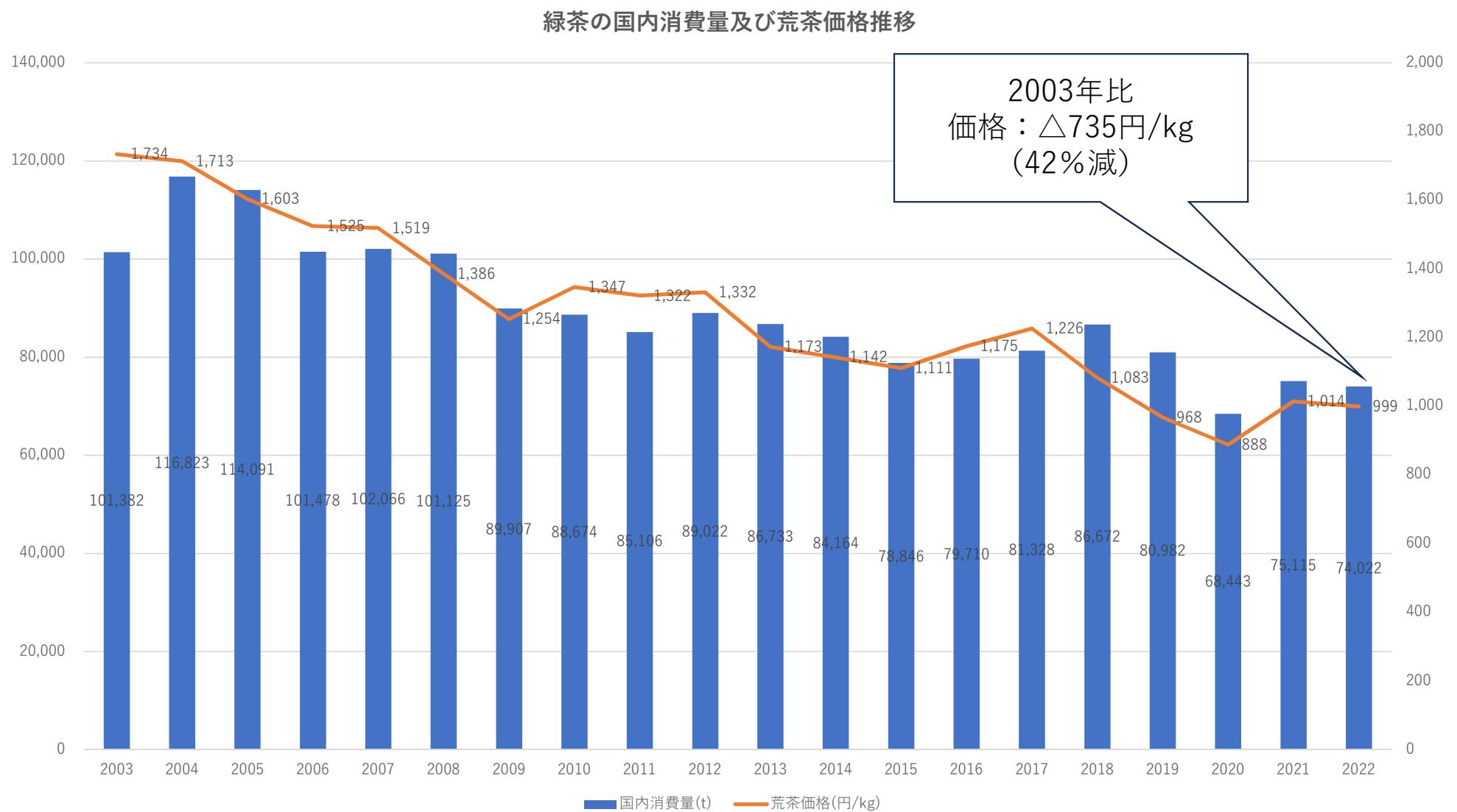


志布志茶の特徴

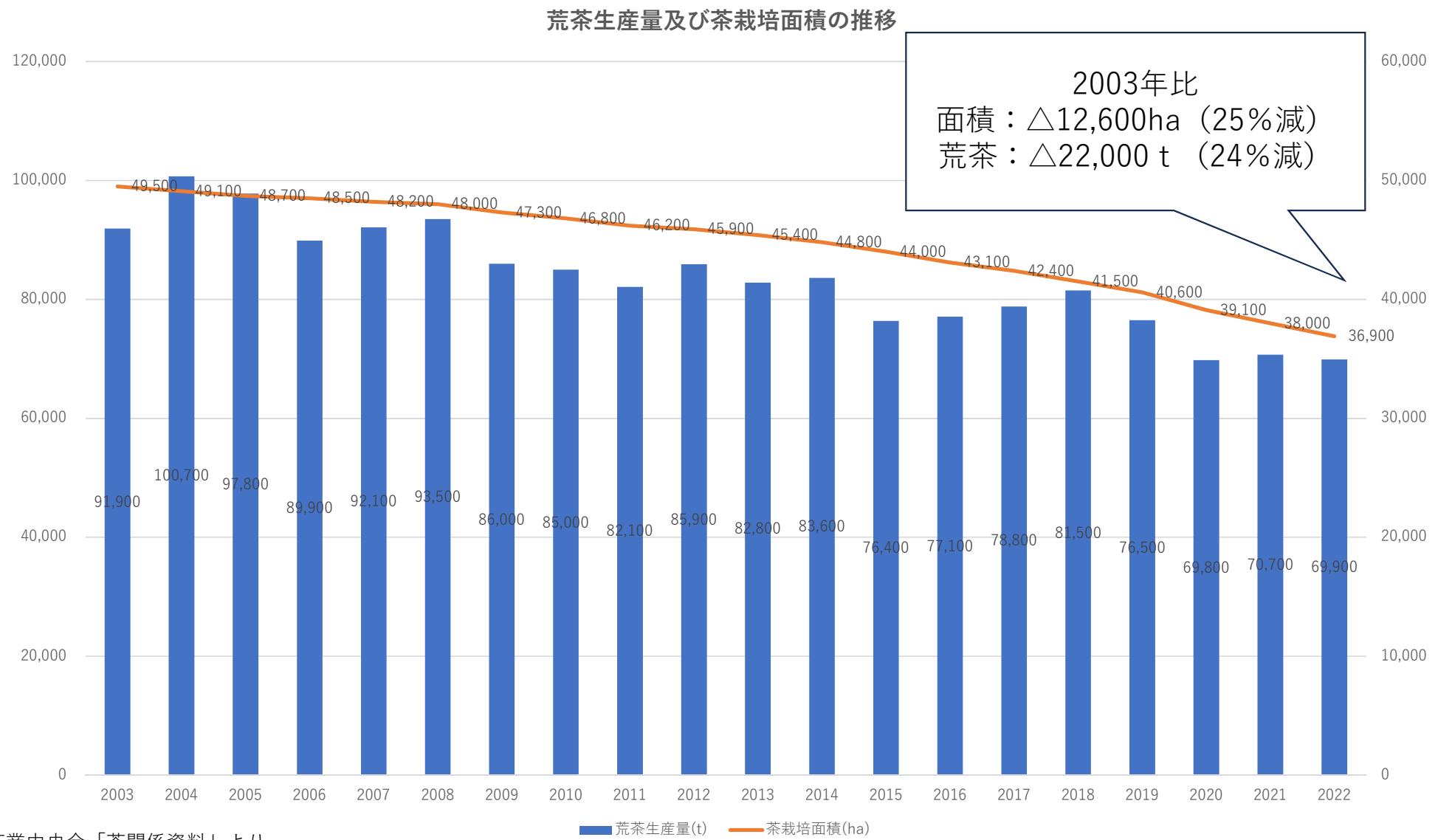
R6年度	面積 (ha)	荒茶生産量 (t)
全国	32,919	73,454
静岡県	12,800	25,800
鹿児島県	8,150	27,000
志布志市	1,241	4,203

志布志茶の特徴

- ・平坦で広大な農地→機械化による省力化
- ・官民一体となつた茶業振興
- ・多彩な品種
- ・多彩な茶種
(煎茶：2,295 t、碾茶：1,903 t、玉露、紅茶：6 t)
※碾茶全国生産量：5,336 t
- ・有機栽培茶、海外向け原料の量産化
(有機栽培面積：323ha、輸出原料：1,219 t)
※有機栽培面積 全国：1,514ha 鹿児島県：624ha



日本茶業中央会「茶関係資料」より

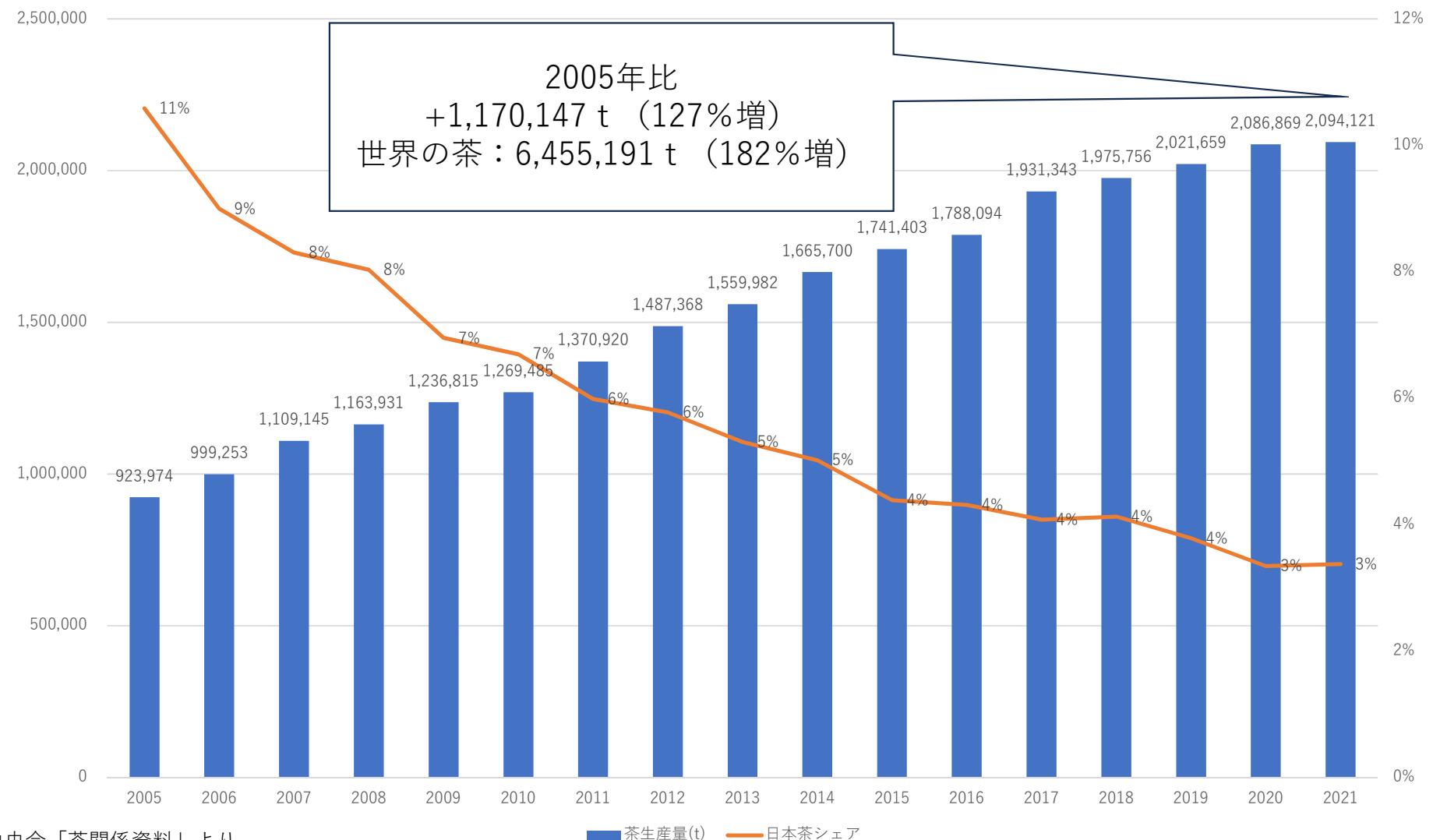


日本茶業中央会「茶関係資料」より

国内茶業は衰退の一
途をたどっている…

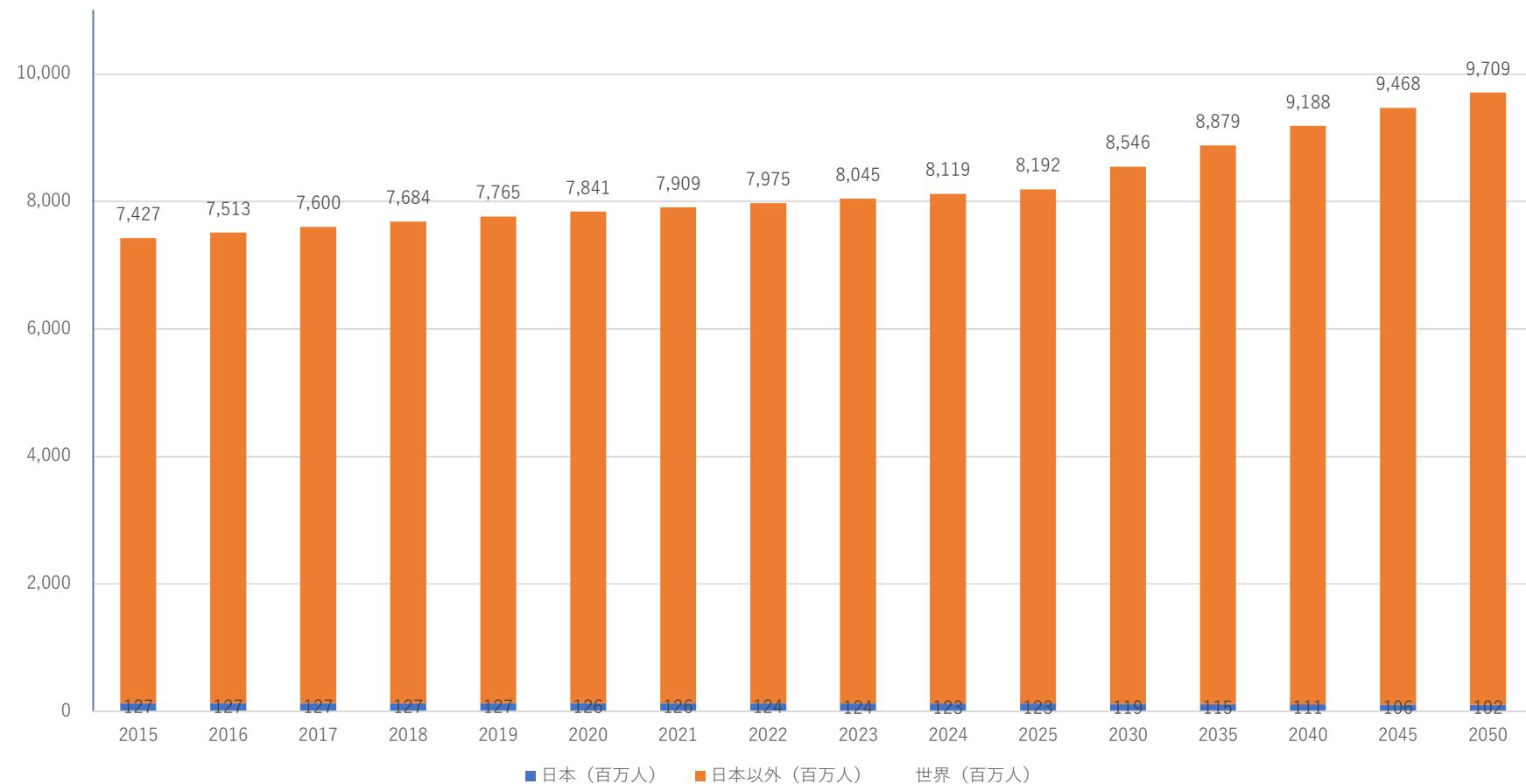
一方、世界はどう
なっているのか？

世界における緑茶生産量の推移



日本茶業中央会「茶関係資料」より

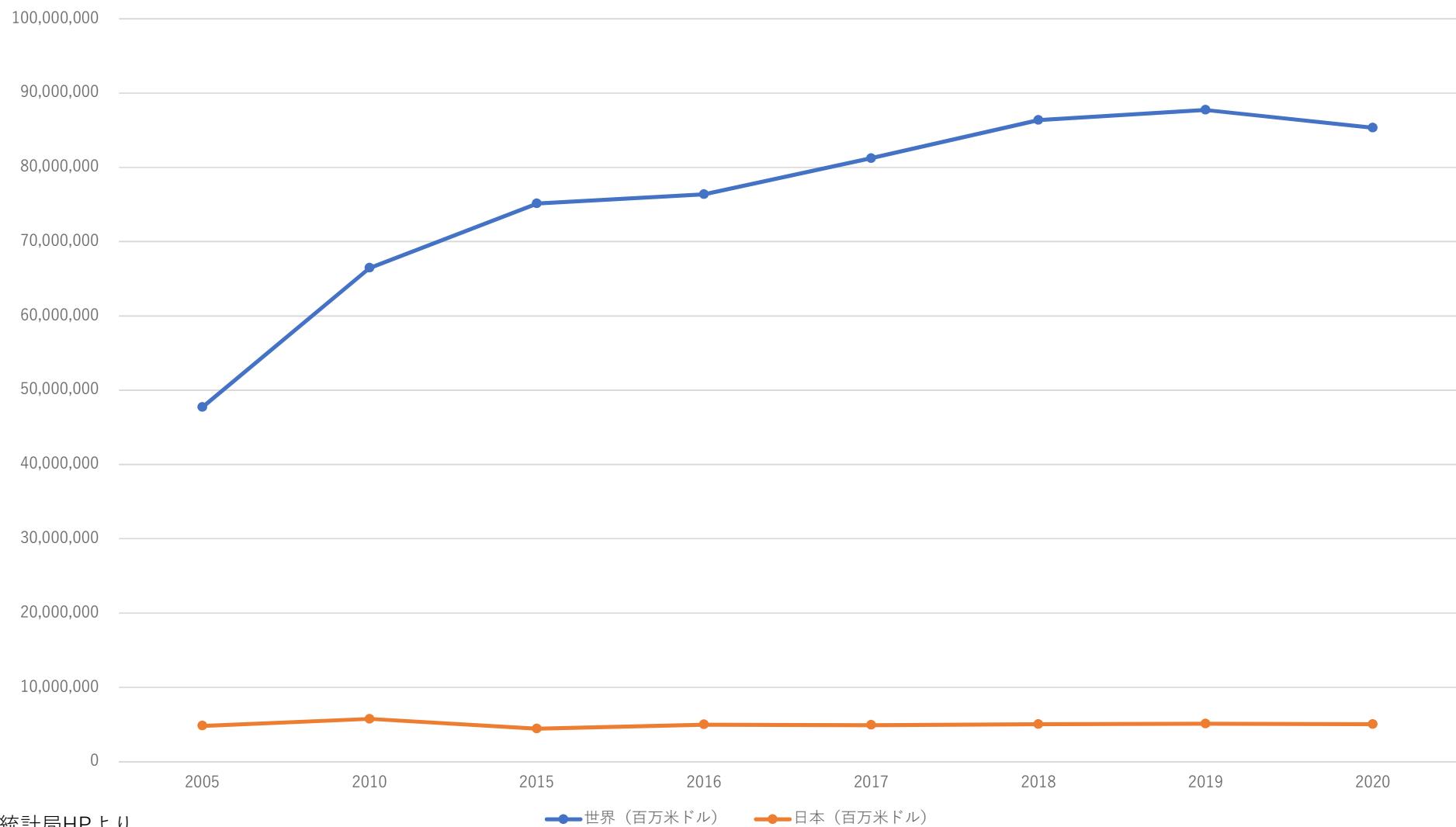
世界の人口推移



※日本は2008年128,084千人をピークに減少

総務省統計局HPより

世界の名目GDP推移



総務省統計局HPより



Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略
～マーケットイン輸出への転換のために～
(2020年11月)



農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略
～輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化～
(2025年5月)

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

日本の農林水産物・食品の輸出額

2012年：4,497億円

2021年：1兆円突破

2024年：1兆5,000億円

2025年：3兆円→2兆円（目標）

2030年：5兆円（目標）



Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

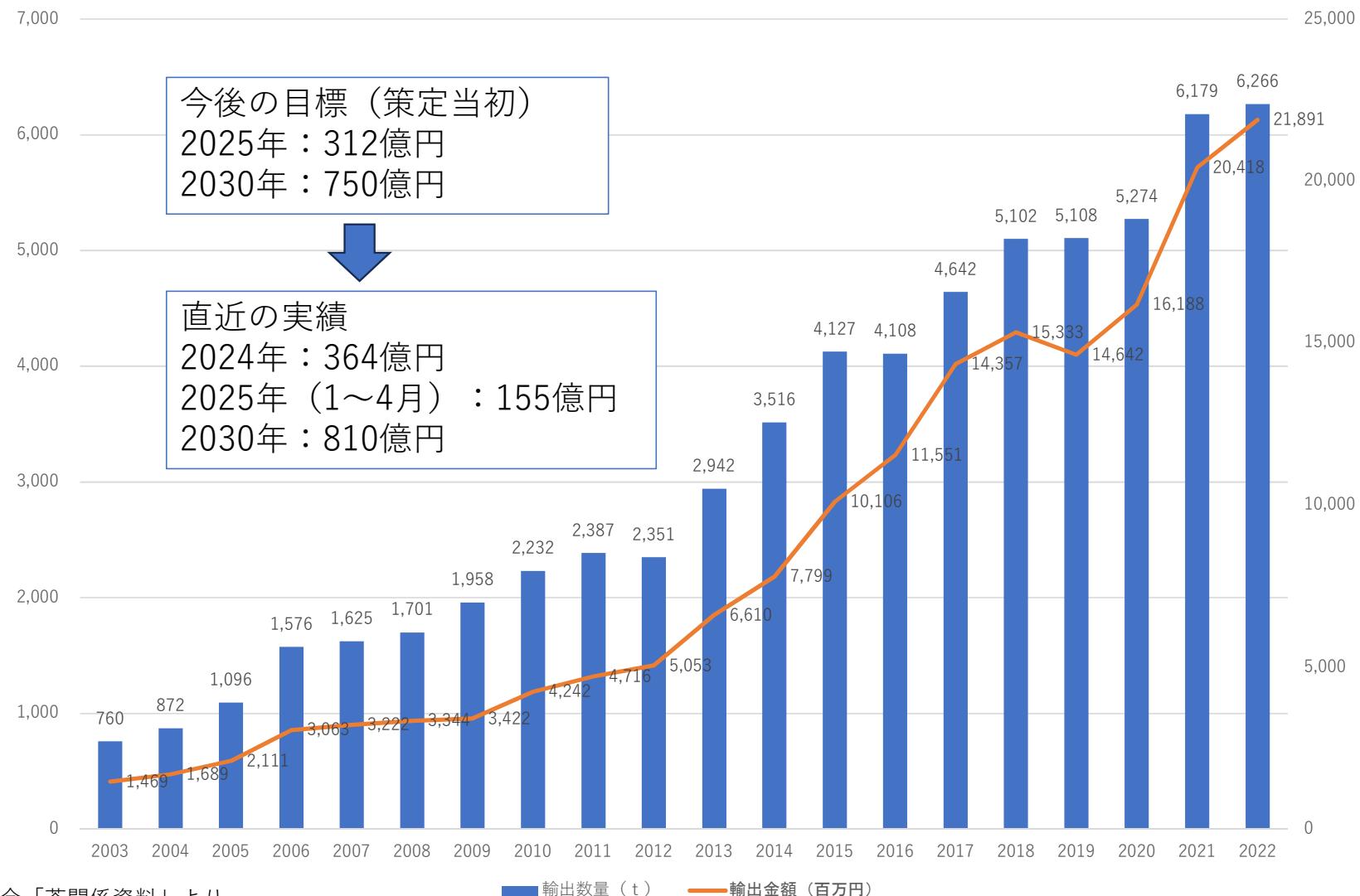
農林水産省

従来の輸出：輸出できる国だけに輸出



これからの輸出：目標をクリアする為、ポテンシャルの高い重点品目を31（当初29）に絞り、積極的にプロモーション、ブランディング、品質向上を行っていく

日本茶の輸出数量及び金額推移



日本茶業中央会「茶関係資料」より



伊藤園グループ新・中長期経営計画（2023年4月期～2027年4月期）

世界のティーカンパニー

茶スペシャリストとして世界の茶文化とつながり、おいしさと価値を広く伝える

グローバル



価値創造



ユニーク



以上を踏まえ、私たち
が進んできた道、進む
べき道



○契約栽培による経営の安定化

- ・市況に左右されない収益の確保
- ・一般市場では手に入らないお茶の供給
- ・中長期の投資活動に必要な情報の確保





○海外向け原料の拡充
残留農薬不検出
有機栽培茶



土台となるIPM農法



目に見えないものを管理





?



?



?

外部認証への適合



日本農業の実態が分からぬ
海外への印籠として
環境、人権等への理解



ASIAGAP





旨味の追及



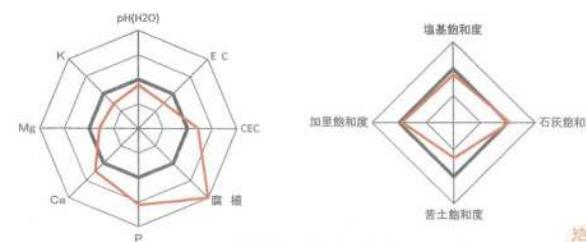
紅茶や烏龍茶など香りに特徴のある
海外産緑茶との差別化

「UMAMI」の世界共通語化

飲んでおいしいが一番だが



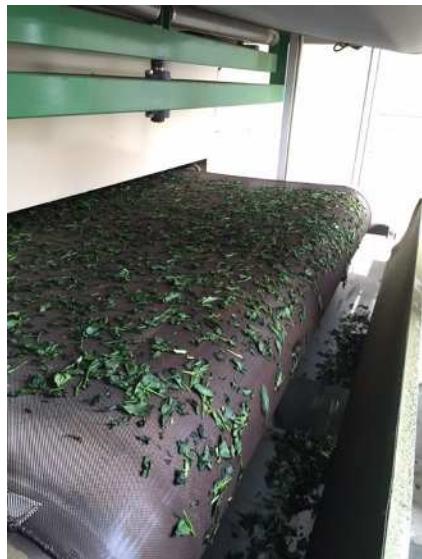
旨味追及のために





○ 6次産業化

流通（問屋）の部分を主体としつつ、
畑、一次加工、高付加価値化へ段階的
に挑戦



第2弾

鹿児島茶の名を全国に。
鹿児島県のお茶屋が
本気で開発したプロテイン

CAMPFIRE
クラウドファンディングに挑戦中!!

私たちの挑戦を応援してください!

QRコード

濃厚
ほうじプロテイン

TEKI TEKI FOR ATHLETES

GREEN TEA TEKI TEKI FOR ATHLETES





志布志の立地を活かし
たこれからの取り組み



○ボトルネックとなる粉碎能力

2027年～粉碎工場『SGP（スグパ）』新設

S : Sterilization (殺菌)

G : Grinding (粉碎)

P : Packaging (包装)

以上を産地で『**すぐにパッ**と』できる工場を目指す

産地の抱える課題

- ・低い付加価値

志布志港の抱える課題

- ・輸出量の確保

物流の抱える課題

- ・2024年問題
(輸送能力の低下)

環境の抱える課題

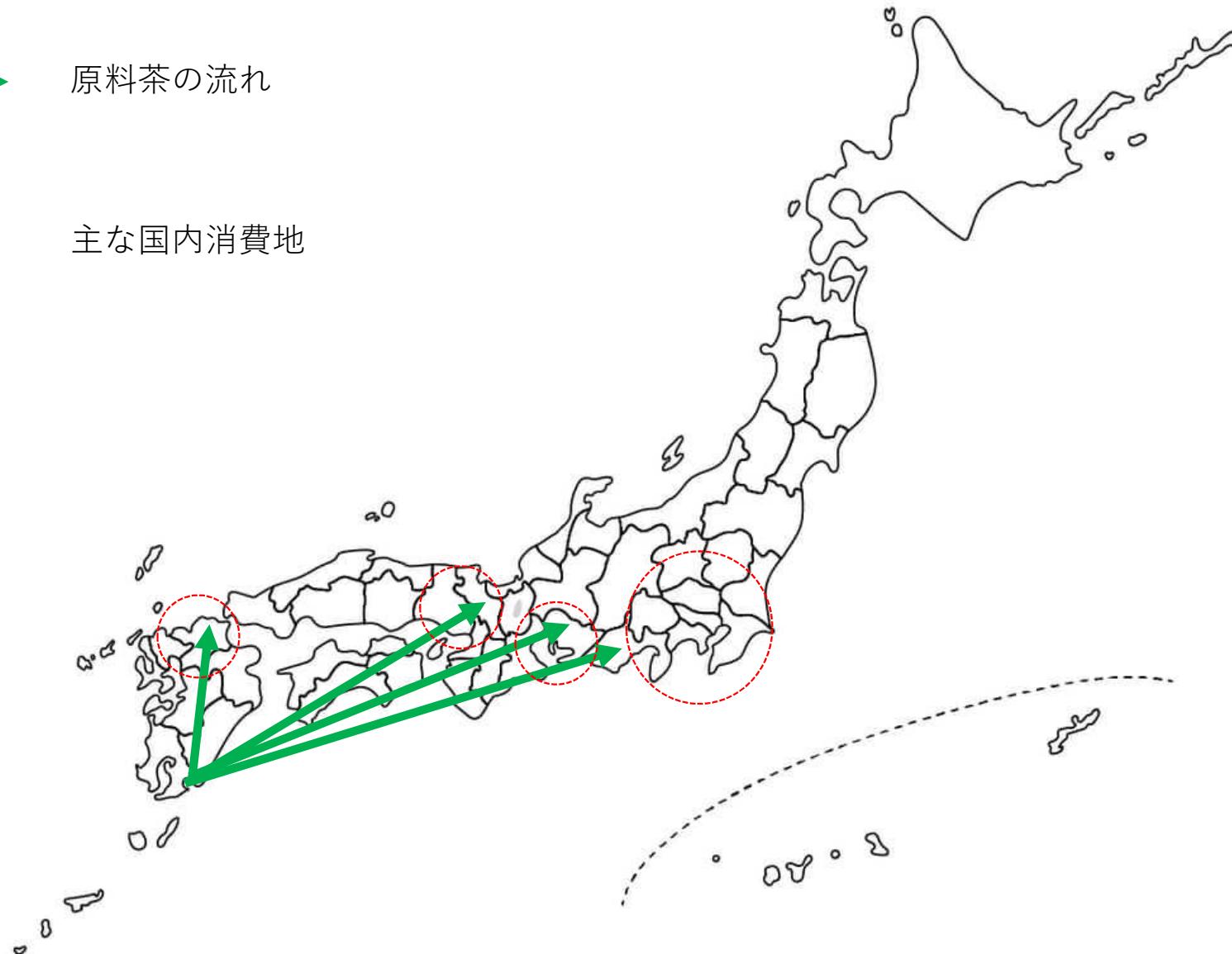
- ・GHG排出量削減



原料茶の流れ



主な国内消費地

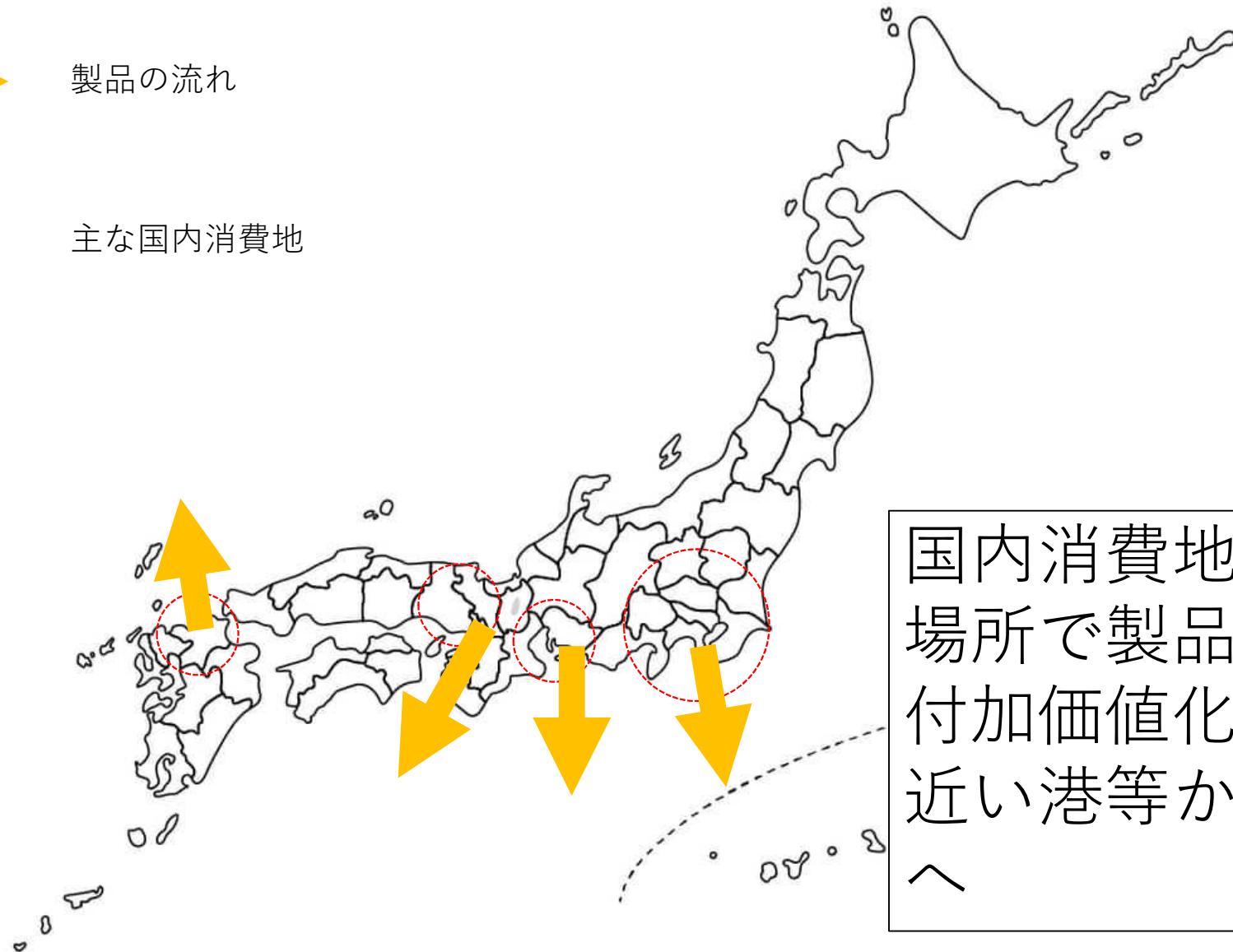




製品の流れ



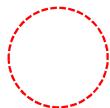
主な国内消費地



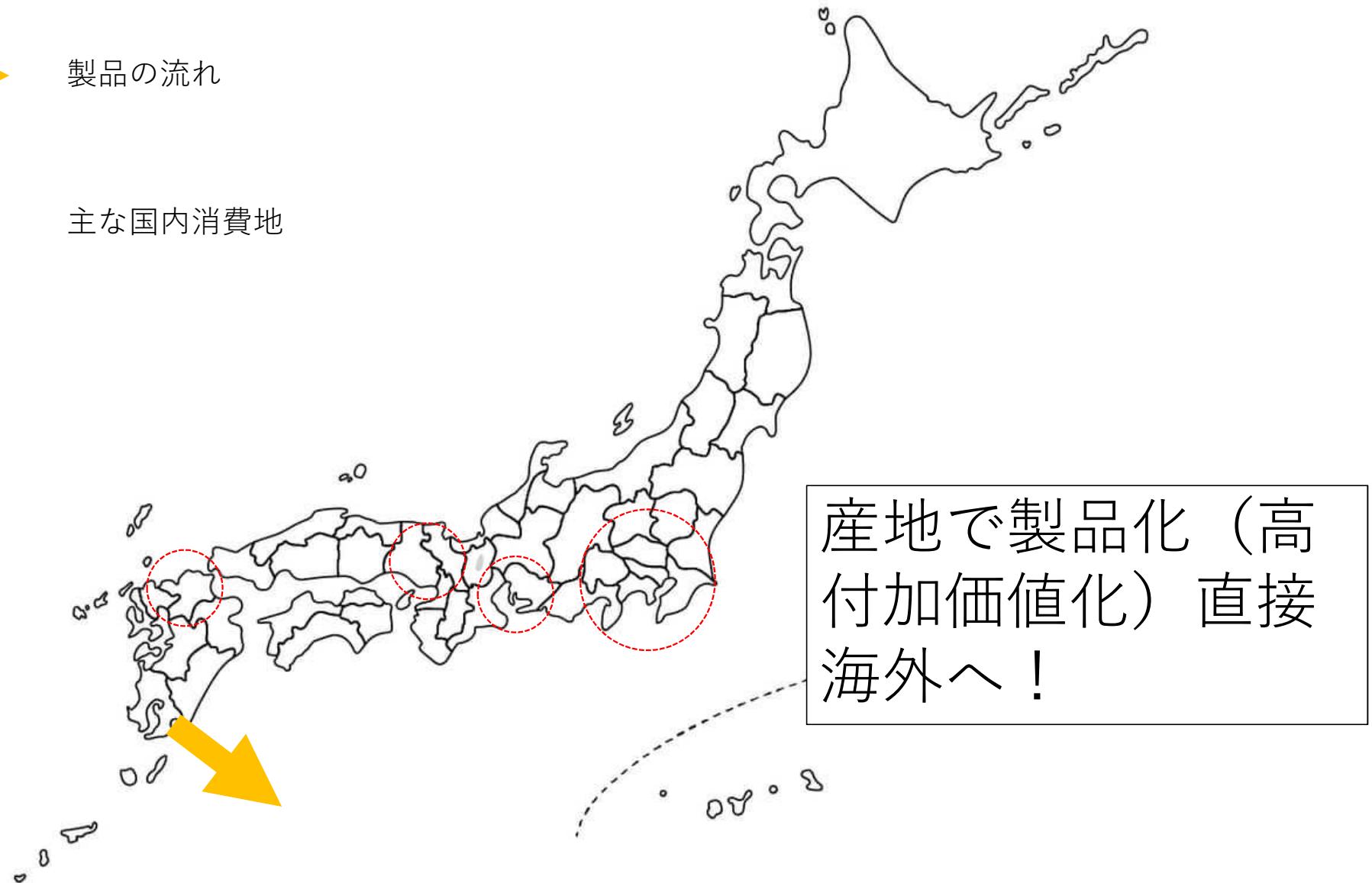
国内消費地に近い
場所で製品化（高
付加価値化）
近い港等から海外
へ



製品の流れ



主な国内消費地



産地で製品化（高
付加価値化）直接
海外へ！



足元の品質を大切にしつつ、
世界に通用するお茶を作っていくこう！

不透明な部分もあるが、
まずはやってみて、起きた問題に対応する力
を身につけよう！